

4－9 伊豆半島，熱海における温泉の変動

Secular Variations of Heat Output of Hot Springs at Atami, Izu Peninsula

東京大学地震研究所

山口 林造

Rinzo Yamaguchi
Earthquake Research Institute, University of Tokyo

前の報告¹⁾に続いて，その後の伊豆半島特に熱海の温泉の変動について述べる。資料は主として静岡県が毎年2月に行っている実体調査のものである。

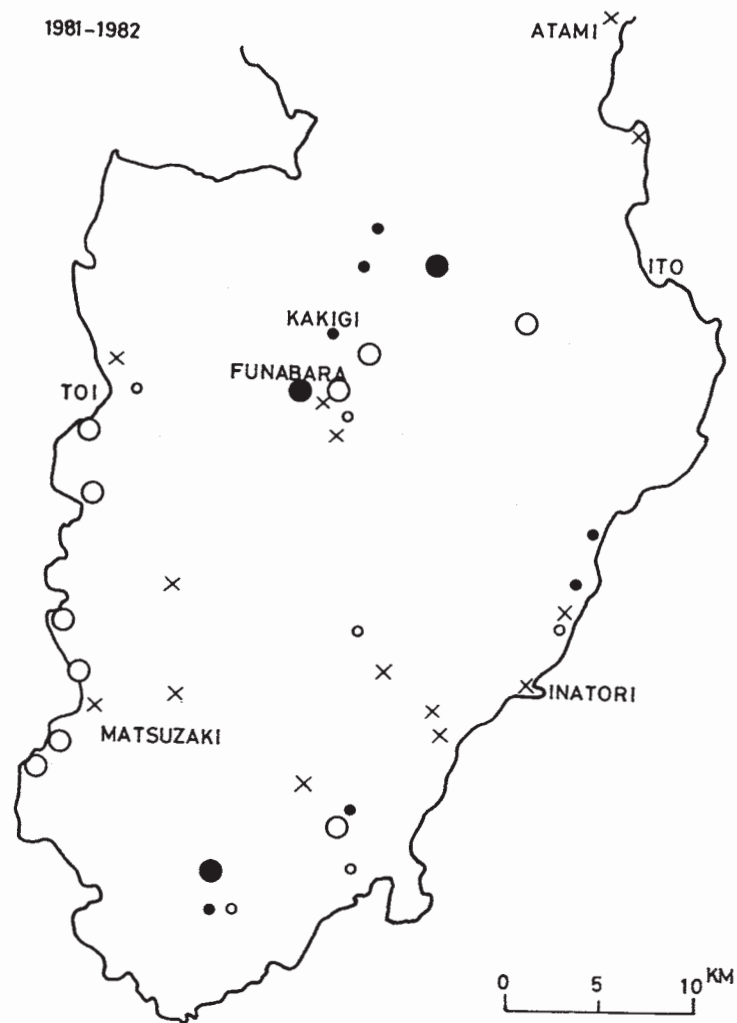
第1図は伊豆半島全般にわたる温泉の変動を示したものである。湧出量増大の個所は少なく比較的安定した状態と思われる。しかし船原の湧出量増大については，注意を要する。

熱海温泉の湧出量について深さ別に示したのが第2図である。深さ300～400mの変化は，最近において増大している傾向にある。第3図に示した一部の源泉における温度変化は，最近においても上昇した傾向のままである。さらに熱海を第4図に示したような地域に分けて，湧出熱量および温度の変化を示したのが第5図および第6図である。A2地域の温度は1975年頃から上昇したままであり，A3地域の湧出熱量と温度も上昇の傾向が続いている。

以上述べたことは，引き続き熱海温泉の変動に注意を向ける必要のあることを示す。

参 考 文 献

- 1) 山口林造：伊豆半島，熱海における温泉の変動，連絡会報，**27**（1982），181－185.

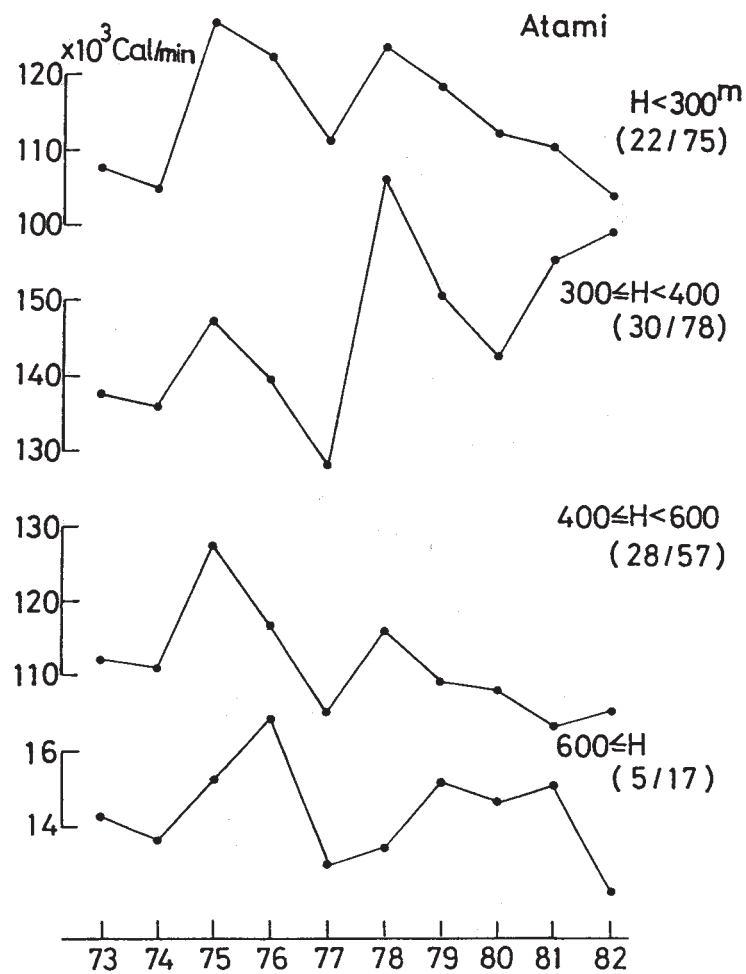


第1図 伊豆半島各温泉地の湧出量変化の分布図（1981年2月－1982年2月）

●湧出量増大 ●湧出量やや増大 ○湧出量減少 ○湧出量やや減少
×湧出量不変

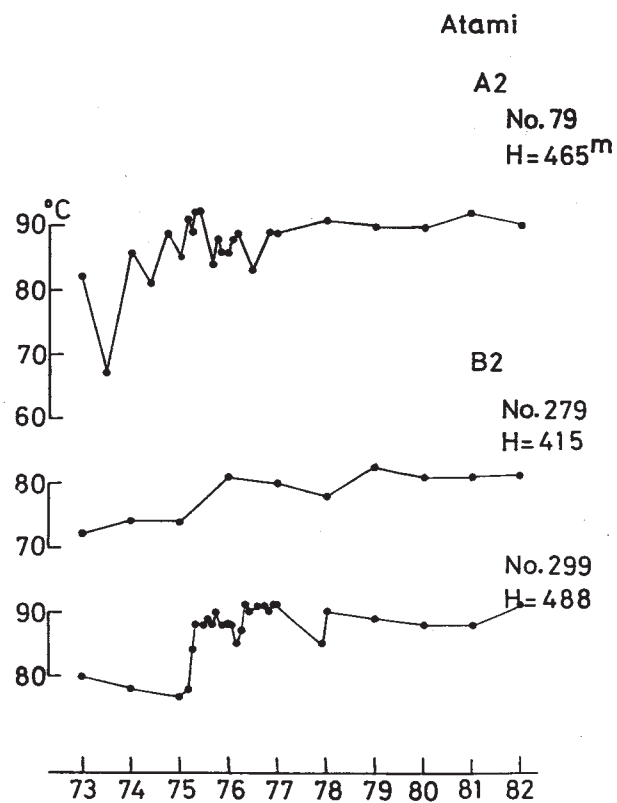
Fig. 1 Distribution of volume output change at each spa in the Izu Peninsula (February, 1981-February, 1982).

● increase in volume output ● slight increase in volume output
○ decrease in volume output ○ slight decrease in volume output
× no change in volume output



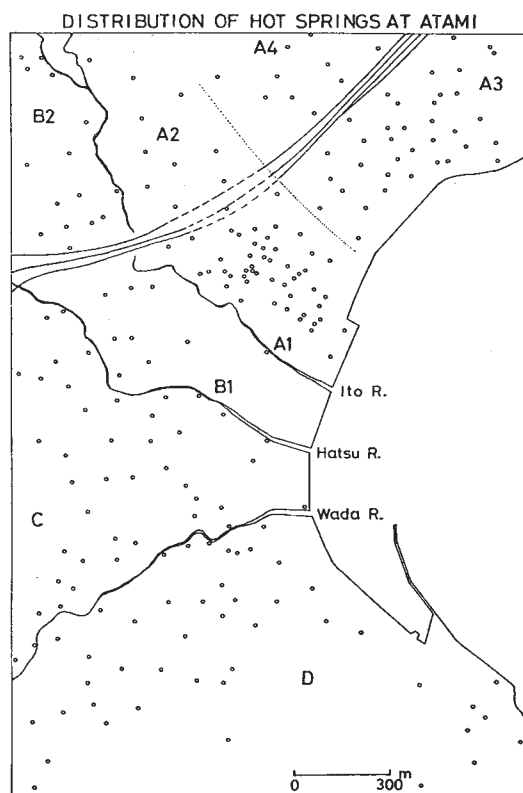
第2図 熱海温泉における深さ別源泉の湧出熱量変化。1973年から1974年の間安定していた源泉についての計算で、これらの源泉数と総源泉数との比を括弧内以示す。

Fig. 2 Secular variation of heat output at wells of different depths at Atami spa. The analysis was made for wells in a stable state during 1973 and 1974. The ratio of the number of these wells to the total number of wells is given in parenthesis.



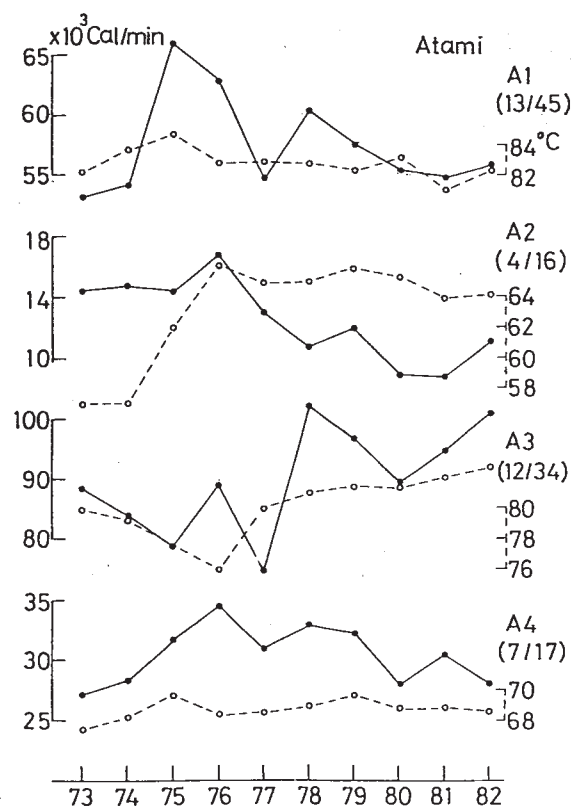
第3図 熱海のある源泉の温度変化

Fig. 3 Variation of temperature at certain wells at Atami.



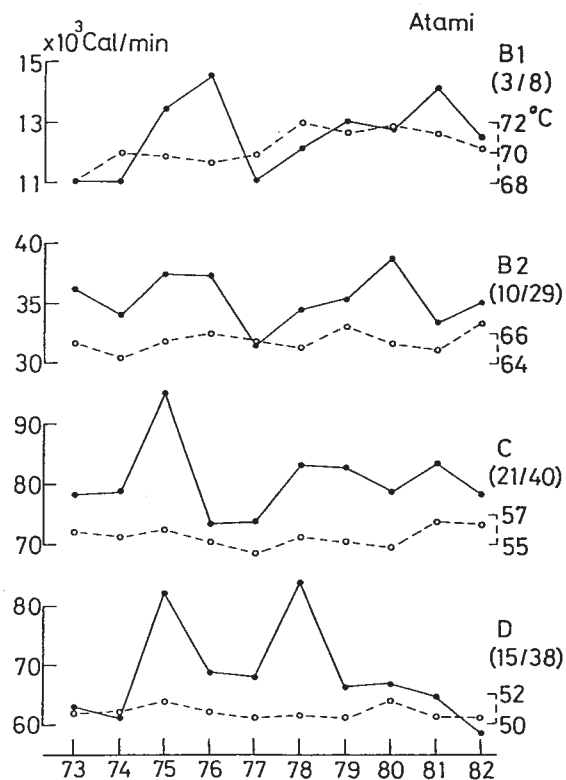
第4図 熱海温泉における源泉分布図と地理的区分

Fig. 4 Distribution of hot springs at Atami spa and geographical zonings of the area.



第5図 熱海温泉の各区域別における湧出熱量（実線）と温度（破線）変化

Fig. 5 Secular variation of heat output (solid curve) and temperature (dashed curve) in each zone at Atami spa.



第6図 熱海温泉の各区域別における湧出熱量（実線）と温度（破線）変化

Fig. 6 Secular variation of heat output (solid curve) and temperature (dashed curve) in each zone at Atami spa.